

第338号



HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員
鳥居良貴 / 増井 裕 / 小原 望 / 山崎美佳
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- 平成29年度 検査セミナー 開催される 1~2
- 《各部局報告》・「初級・職能開発講習会」開催報告(1) 2~3
- 《行事予定表》 4~5
- 《会員グルメ情報》・がんゲノム医療 コーディネーターの役割を・がん対策計画に「病理関連技師の適正配置」・お知らせ 6~7

平成29年度 検査セミナー 開催される

平成30年1月13日兵庫県私学会館4階大ホールに於いて、(公・社)兵庫県臨床検査技師会と兵庫県がん診療連携協議会の共催で、がん診療に従事する医療関係者を対象とした『検査セミナー』が開催されました。今年度は「“乳がん”検査と治療 up to date」をテーマに講演がありました。

講演1 「兵庫県のがん対策」

鶴井 成央 先生

(兵庫県健康福祉部健康局 疾病対策課 がん・難病対策班班長)

講演2 「ゲノム解析に基づくがんのプレジジョンメディシンの展開」

玉谷 卓也 先生

(順天堂大学大学院医学研究科 客員教授)

講演3 「乳がんの診断と治療」

佐古田 洋子 先生

(加古川医療センター 検査・放射線部長兼乳腺外科部長)

検査セミナー

乳がん

検査と治療 up to date

日時 平成30年 1月13日 (土)
14:00~17:00

会場 兵庫県私学会館 大ホール

兵庫県のがん対策
講師：鶴井 成央 先生
(兵庫県健康福祉部健康局 疾病対策課 がん・難病対策班班長)
協賛：万葉 乳がん (がんセンター・医療情報局)

ゲノム解析に基づくがんのプレジジョンメディシンの展開
講師：玉谷 卓也 先生 (順天堂大学大学院医学研究科 客員教授)
協賛：万葉 乳がん (がんセンター・医療情報局)

乳がんの診断と治療
講師：佐古田 洋子 先生
(加古川医療センター 検査・放射線部長兼乳腺外科部長)
協賛：万葉 乳がん (がんセンター・医療情報局)

当日は粉雪が舞う寒さで、かつ、他の関連研修会も開催されているにも関わらず想定数を超える参加者が集まり熱心に聴講する姿が印象的でした。

鶴井先生からは兵庫県のがん対策の歩みとして、兵庫県がん対策推進計画(第5次ひょうご対がん戦略推進方策)が紹介されました。がん予防の推進・早期発見の推進・医療体制の充実を柱に、たばこ対策・肝炎ウィルス検査と陽性者への保健指導・アスベスト対策などへの取り組みが紹介され受入れ医療機関の状況やがん検診受診率が低い点などの課題が報告されました。

玉谷先生からは“ゲノム解析に基づくがんのプレジジョンメディシン”を行うことによる医療



コスト変化・発生予測や治療効果、欧米と日本の取り組みの違いなどが詳細に講義されました。内容は多岐に渡り理解は容易ではありませんが、個人の遺伝子情報をもとに“より精密な個別の対応を行う医療”として今後の対がん戦略の中心となること、同時に“がんゲノム検査”を行う上で重要な検査の手順・検査体制の整備なども紹介されました。

佐古田先生からはマンモグラフィによるデンスブレスト(高濃度乳房)の読影注意点や日米間の取

扱いの違い、超音波検査との併用によるがん検出率の上昇の一方、特異度が低下するとの指摘がありました。更に従来の穿刺吸引細胞診が減少し、サブタイプ診断が可能な針生検・マンモトーム生検が増加するなどの現状が解説され、併せて分子標的治療薬を含む薬物療法の進歩、ティッシュエクパンダーを用いた乳房再建術など多くが紹介されました。

当日は参加者130名(会員87名、賛助会員4名、関連団体24名、学生1名、その他14名)のもと開催され途中退出の方も見当たらず大盛況のうちに閉会となりました。臨床検査技師だけではなく、医師、看護師、放射線技師、薬剤師、事務職など医療関係の多職種が参加されており、公益性の高いセミナーとして今後も継続すべき企画であると考えます。また3演題とも“乳がん”の検査と治療 up to date に不可欠な内容でした。会員の皆様も日々進歩する現代の医療を学ぶことができるこのようなセミナーに参加してみてはいかがでしょうか。(文責：広報部)

今回の「検査セミナー」にて、参加された皆様にご協力いただきましたアンケート調査の結果は本紙P8に掲載しております。ご覧ください。



各部局報告

組 織

第5回西播地区研修会

(1月24日)

● 第5回西播地区研修会に参加して(1月24日)

竹末 千晶 (三栄会 ツカザキ病院)

1月24日に姫路赤十字病院で開催された第5回西播地区研修会に参加しました。

今回の研修会のテーマは、松井隆先生(姫路赤十字病院)による「外来採血室 あるある話～当院での対処法～」と桶口三香子先生(赤穂中央病院)による「医療現場での接遇&マナーについて考える～当院での取り組み 患者・家族そして職員がHAPPYに～」といった内容でした。

私の病院では臨床検査技師は採血業務を行っておりませんが、患者さまを長時間待たせない、待たされた感覚をもたせない工夫は採血室だけではなく、生理機能検査室でも参考になることが多かったです。

また臨床検査技師は他のコメディカルよりもコミュニケーション能力が低い、または苦手意識があるように思います。しかし、苦手ということで終わらせず、接遇は仕事レベルでの対応

が必要であると感じました。もっとこのような臨床検査技師向けの接遇を学べる機会があると有り難いです。



松井先生



樋口先生



Vol.24No.2

会報JAMT ホームページ掲載

平成30年1月15日号

「初級・職能開発講習会」開催報告(1)

本年度から始まった「初級・職能開発講習会」は、3か年の継続事業として卒後3～10年目の会員を対象に、医療人、職能人としてのスキルアップを目的に、医療情勢の変化、今後の臨床検査の在り方、職能団体としての組織強化などをテーマとして全国展開しています。今年度は11都道府県技師会で開催します。講習内容は、宮島会長講話「医療情勢と今後の方向性について」、横地副会長による基調講演「多職種連携医療で活躍する臨床検査技師」、新生涯教育制度支援のeラーニングの活用を説明後、グループワークにて意見交換を行います。今回は、平成29年12月3日に開催された兵庫県臨床検査技師会と平成29年12月17日に開催された宮城県臨床検査技師会の受講者より成果の報告です。

兵庫県



横地副会長による基調講演

森川 貴道 (㈱兵庫県臨床検査研究所)

私は今回の講習会を受講し、法律や制度、臨床検査技師としての働き方の意識を変えなければならないと感じました。今回の講習を受けるまで、法律や制度に興味がなく、知ろうという意識もありませんでした。しかし、今回の講習を受け、どれだけ大きく医療現場の情勢が変化しているのかを知りました。日々の業務の中で当たり前に行っている精度管理の法律が6月までなかったということには衝撃を受けました。また、保険点数の改正がどのような情報をもとに行われているのかを知り、検査センターで働いている私は、検査センターの在り方に危機感を覚えました。

これからの臨床検査技師は、医療現場の情勢の変化に伴い、今までの意識を改め、検体採取や在宅医療、患者への検査説明・結果説明など、様々なニーズに対応していく必要があると感じました。私自身も、幅広い知識・技術を身につけ、これからの医療現場で求められるような臨床検査技師になりたいと感じました。

竹本 真喜(市立加西病院)

当日参加してはじめて思ったことは、参加者が少ないということでした。私自身、職能開発と言われても「何を行うことなのか」「そもそも私のような経験の浅い技師が何をどうできるのか」と参加する前から疑問や不安を感じており、もしかすると同じような気持ちの方もいらっしゃるかもしれません。しかし、会長講話・基調講演を受け、今、医療が直面している問題や将来に向けての構想、そのために臨床検査技師はどうあるべきなのか、その理想に向けて何ができるのか等、自分なりに考えられるようになりました。グループワークでは、様々な施設の方と話したことで、従事する医療の現場が異なれば考え方も違い、今まで自分にはなかった視点が得られたり、反対に、どの現場でもこれは同じなのだと感じられたりしました。学んだことを実践しながら、これからも地域医療のために貢献していきたいと思います。



グループワークの様子



グループワーク後には各グループの意見をまとめて発表

(会報JAMT Vol.24 No.2 平成30年1月15日号より抜粋)

会員グルメ情報

数珠つなぎ [13]

久米 賢会員（三栄会 ツカザキ病院）

今回は姫路城でお馴染み、姫路市からの紹介です。

JR姫路駅から歩いて6分。美味しいワインとお肉料理を楽しむことができるお店、「Eau de Vie（オードヴィー）福田葡萄酒店」（電話0792-84-0065）さんをご紹介します。

ワインも料理もリーズナブルな値段で、17時から店が開いているので仕事終わりはもちろん、飲み会、デート、待ち合わせなど様々なパターンで行けますし、もちろん1人でも入れるアットホームな雰囲気です！

グラスワインもボトルも種類が豊富で赤ワイン、白ワイン、ロゼ、サングリアが一通り置いてあり、さらに店の奥にあるワインセラーは出入り自由。それぞれの原産国や味の特徴が書いてあり、気に入ったワインがあればいただくことができます。ワインに合う料理も楽しむことができ、定番のチーズやパテ、手の込んだ肉料理は絶品です。特に写真のハラミはレアな焼き加減と柔らかな食感が絶妙で、赤ワインとの相性は抜群です。このほか、和牛の赤ワイン煮などの絶品料理、またミックスナッツや生ハムなどワインが進むおつまみ料理も豊富にあります。

姫路に立ち寄ることがあったら是非「Eau de Vie 福田葡萄酒店」さんへ！ガッツリ派もちょい飲み派も、1軒目でも2軒目でも大満足できること間違いなしのお店です。気さくな店主と店員さんとトークも弾み、お酒が美味しく進みます。ただし、飲みすぎには注意です、酒は飲んでも飲まれるな。



がんゲノム医療 コーディネーターの役割を

日臨技・宮島会長 研修会への参加促す

日臨技の宮島会長（参院議員）は1月21日、山梨臨床検査フォーラムで講演し、臨床検査技師の将来について述べた。5～10年後の医療の姿としてゲノム医療の進展を見通し、臨床検査技師は、患者に遺伝子パネル検査を説明するなどの「がんゲノム医療コーディネーター」としても役割を担うべきだとの認識を示した。厚生労働省が今年度から行う研修事業へ積極的に参加するよう呼び掛けた。厚労省が来年度から設置する「がんゲノム医療中核拠点病院」「がんゲノム医療連携病院」の要件には、「患者に遺伝子パネル検査の説明を行ったり、遺伝子パネル検査にて二次的所見が見つかった際に遺伝カウンセリングへつないだりする者」を配置することが記載されている。厚労省は今年度から看護師、薬剤師、臨床検査技師を対象に研修事業を予定しており、3月24日～25日に東京で研修会が開催される予定。

（平成30年2月1日発行 THE MEDICAL & TEST JOURNAL より抜粋）

がん対策計画に「病理関連技師の適正配置」

政府が閣議決定 認定技師・細胞検査士を明記

政府は10月24日、第3期がん対策推進基本計画を閣議決定した。がん医療の充実を柱の一つにかかげ、国が取り組むべき施策の一つとして、認定病理検査技師、細胞検査士を具体的に挙げながら「病理関連業務を担う臨床検査技師等の適正配置を検討する」ことを盛り込んだ。基本計画は、2017年度から6年間の全体目標を「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す」と定め、「科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実(がん予防)」「患者本位のがん医療の実現(がん医療の充実)」「尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築(がんとの共生)」の3つを柱に据えた。また、がんゲノム医療を推進する方針を示し、遺伝子関連検査(遺伝子パネル検査など)の制度上の位置付けや条件付き早期承認による医薬品の適応拡大など、薬事承認や保険適応の適切な運用を検討するとした。

(平成29年11月11日発行 THE MEDICAL & TEST JOURNALより抜粋)

お知らせ

平成29年度 臨時総会と講演会の開催について

春寒の候、会員各位におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より本会の諸活動に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成29年度臨時総会と講演会を下記のとおり開催いたしますので、多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。なお、臨時総会出席及び議決権行使書・委任状(別紙)を同封の封筒にてお送り下さいますようお願い致します。

開催日：平成30年3月21日(水・祝) 13:00～15:30

会場：兵庫技研修センター

神戸市中央区八幡通4-1-38(東洋ビル4F) TEL (078) 271-0255

内容：・13:00～13:50【臨時総会】

- 1) 開会の辞
- 2) 会長挨拶
- 3) 議案審議

第1号議案 平成30年度事業計画の承認について

第2号議案 平成30年度予算及び平成30年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認について

- 4) 閉会の辞

・13:50～13:55【表彰式】

第23回兵庫県医学検査学会 優秀演題表彰者

渡邊 優子 会員(神戸大学医学部附属病院)

細見 恵 会員(明石市立市民病院)

・14:00～15:30【講演会】

「診療報酬改定について」

金村 茂 先生((一・社)日本衛生検査所協会 専務理事)

※ 議案書は兵庫技ホームページに掲載中

問合せ先：(公・社)兵庫県臨床検査技師会 TEL (078) 271-0255 FAX (078) 271-0256

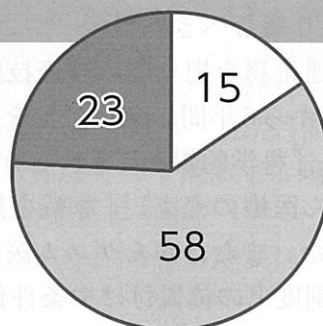
担当：総務部長 佐藤 伊都子 神戸大学医学部附属病院 検査部 TEL (078) 382-5111

「平成29年度 検査セミナー」 アンケート調査の結果 ①

1. 講義内容について

<input type="checkbox"/> 大変よくわかった	15 名
<input type="checkbox"/> よくわかった	58 名
<input type="checkbox"/> 少しわからなかった	23 名
<input type="checkbox"/> わからなかった	0 名

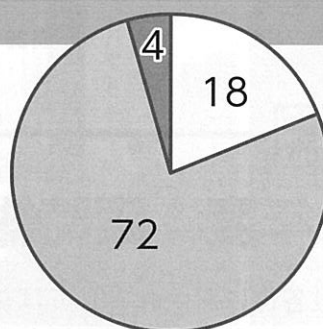
合 計 96 名



2. 講義時間について

<input type="checkbox"/> 長かった	0 名
<input type="checkbox"/> 少し長かった	18 名
<input type="checkbox"/> 適当であった	72 名
<input type="checkbox"/> 少し短かった	4 名
<input type="checkbox"/> 短かった	0 名

合 計 94 名



「平成29年度 検査セミナー」 アンケート調査の結果 ②

本セミナーに関するご意見

- ・ 遺伝子乳がんについて特徴や治療法についてよく学びました。今後も先進医療について学んでいきたいです。ありがとうございました (検査メーカー)
- ・ 診療に対する検査の意味がわかり勉強になりました (臨床検査技師)
- ・ 患者様からの意見が聴けたらと思います (臨床検査技師)
- ・ 引き続きがん遺伝子関連の up to date な内容をお願いします (臨床検査技師)
- ・ 乳がんについては関心の高い技師も多いので回数を増やして欲しいです (放射線技師)
- ・ 治療や検査についてもっとくわしくお話を聞きたい、また検査 (CNB、ABC) 時により精度を上げるための工夫など (看護師)
- ・ 国の動向等、日常的に情報が入ってこない内容についてはありがたいです (放射線技師)
- ・ 肺がんの診断については検査学会等で聞くが、治療はなかなか機会がない (臨床検査技師)
- ・ 肝がんについて聴講したいです (臨床検査技師)

その他多くの前向きなご意見をいただきました。また会場が狭い、室内が寒かったなどのご意見もいただき、今後の参考にしていただけたと思います。ご協力ありがとうございました。